

パオちゃん's EYE

2019年4月1日発行 No.25

当館最古の岡山県産昆虫標本



アオバセセリ（1936年，勝山町産）。

倉敷市立自然史博物館では、整理が完了した昆虫標本の種名や採集データをパソコンのデータベースに入力して管理しています。このようにしておくことで、入力されている約21万点もの昆虫標本の中から、あらゆる条件の必要な標本をすぐに見つけることができます。

採集地名を「岡山県」で絞り込んで、採集年月日を古い順に並べ替えすると、岡山県で採集されたもっとも古い標本を見つけることができます。このアオバセセリがそれで、写真右上のデータラベルによれば、1936年に勝山町で採集されたものです。採集月日はこの書き方では、6月8日（アメリカ式）なのか8月6日（イギリス式）なのかよくわかりません。イニシャル「Y. I.」は採集者の伊藤芳明氏で、伊藤氏の昆虫コレクションは763点が倉敷市内の中学校で発見され、現在は当館と倉敷昆虫館に保管されています。

岡山県内の戦前の昆虫標本はほとんど残されておらず、たいへん貴重な資料です。

奥島雄一（昆虫担当）

パオちゃんズアイに関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp

博物館ホームページには
いろんな情報がいっぱい♪
「倉敷市立自然史博物館」で
検索してみよう！ パオより

